



昭和49年1月撮影

国吉真英氏略歴

大正元年12月25日、沖縄県美里村字泡瀬に生まれ、県立第二中学校を経て東京高等獣医学校（現日大獣医学部）を卒業。東京帝大、伝研第80回伝染病学講習を終了すると同時に沖縄県、衛生課の乳肉衛生及び家畜防疫担当獣医師として勤務する。当時すべての若者が抱いていた夢即ち中国大陸での専門技術の活用を捨てきれず、昭和15年満洲国、興安府で家畜防疫業務を担当後、特殊獣医防圧に専念している時当地で終戦をむかえた。

昭和21年8月沖縄に帰環し、身心共に休まる暇なく同年9月には沖縄宜野座病院、研究室勤務を命ぜられ、当時県下で猛威をふるっていたマラリアの防圧活動に奮闘する。聞くところによれば敗戦当時のことゆえ、研究室の設備も不備な上試薬及び器材も不足であった時、先生はその必要性から自己の身もかえりみず、防疫活動と試験室作りに粉骨砕身奮闘なされたとの事であった。

第2次大戦後の混乱期も過ぎた頃、昭和26年南部保健所（現那覇保健所）の創立と同時に転勤を命ぜられ、食品衛生課長として創設期の食品衛生行政を担当なされた。

昭和32年10月、琉球衛生研究所の試験検査課長として調査研究業務に専念し、後衛研の機構改革によって衛生動物室長となり在職中に停年退職する。昭和48年6月1日付で退職するまで実に16カ年余、衛研と共に幾多の労苦をなされた方であった。この間公務だけでなく民間医療団体の育成にもつとめ、財団法人、沖縄寄生虫予防協会の評議員や理事も併ね、衛研所内技術陣に対する御指導だけでなく病院や保健所の職員に対しても意欲的な指導助言をおしまれなかった。先生の直接間接に影

響を受けた人は多いものと考えられる。又県外の大学関係者の医動物学調査に際しても積極的な協力をを行い、その交友関係も層の広い方である。研究業績も多く発表論文は50編余あってその研究活動に基いて受けた賞は

沖縄公衆衛生協会会長賞	昭和46年
琉球政府行政主席賞	昭和47年
第16回全国環境衛生大会会長感謝状	昭和47年

をはじめ、沖縄県保健所長会長賞等、数多くの賞を受けている。これ等数多くの研究業績は、県下に於ける医動物学史上の輝かしい足跡として残るであろう。(岸本記)

原著及び共著論文

昭和28年(1953)

1. 国吉真英, 宜野座村住民のフィラリア仔虫検査成績, 獣医畜産新報, 112; 524~525

昭和31年(1956)

2. 国吉真英, 大仲良雄, 沖縄本島糸満屠場にて検出せる肺吸虫について, 獣医畜産新報, 180; 320

昭和32年(1957)

3. 佐藤八郎, 福島英雄, 照屋寛善, 国吉真英, 城間盛吉, 沖縄における腸管内寄生虫及び糸状虫症について, 研究速報(鹿児島大学, 琉球大学共同調査) 49~53

昭和33年(1958)

4. 佐藤八郎, 福島英雄, 外山寛樹, 野中俊明, 照屋寛善, 国吉真英, 城間盛吉, 沖縄に於ける寄生性蠕虫類および糸状虫症について, 鹿児島大学医学雑誌, 10(4); 358~368
5. 佐々学, 照屋寛善, 池宮喜春, 国吉真英, 城間盛吉, 金城進, 沖縄農村の寄生虫罹患について, 日本医学会雑誌, 39(9); 1~24

昭和34年(1959)

6. 国吉真英, 城間盛吉, 仲宗根栄, 沖縄本島南部地区の糸状虫症の調査成績, 琉球衛生検査学会報 1; 23~28
7. 国吉真英, 平識善保, 城間盛吉, 久米島における寄生性蠕虫類調査成績について, 琉球衛生検査学会報, 1; 57~65

8. 佐々学, 照屋寛善, 池宮喜春, 国吉真英, 沖縄の肺ジストマ症, 琉球衛生検査学会報, 1; 78
~82

昭和35年(1960)

9. 国吉真英, 仲地紀良, 平識善保, 城間盛吉, 上原直三, 沖縄に於ける肺吸虫症の疫学的調査成績
(中間報告), 琉球衛生研究所報, 1; 11~17

昭和36年(1961) 昭和36年(1961)

10. 国吉真英, 沖縄における過去11カ年のフィラリア調査成績, 琉球衛生研究所報, 2; 43~53
11. 照屋寛善, 仲地紀良, 国吉真英, 平識善保, 上原直三, I 沖縄宜野座村漢那に於けるマイクロフィ
ラリア陽性者の集団治療について, 琉球衛生研究所報, 2; 54~58
12. 照屋寛善, 仲地紀良, 国吉真英, 平識善保, 城間盛吉, 田端辰夫, 上田朝高, 玉那覇秀雄, 金城
進, II マイクロフィラリア(バンクロフト種)陽性者に対してスマレ(Difhiazanine)を使用した
例, 琉球衛生研究所報, 2; 59~60
13. 国吉真英, 平識善保, 城間盛吉, 沖縄における糞線虫保有者の臨床症状調査について, 獣医畜産
新報, 294; 27~32
14. 赤内淳一, 富村保, 一色於菟四郎, 国吉真英, 大仲良佳, 琉球産豚から得られ *Paragonimus ohi
rai Miyazaki* (大平肺吸虫) の卵について, 寄生虫学雑誌, 10(5); 667~673

昭和37年(1962)

15. 片峰大助, 吉村税, 吉田朝啓, 国吉真英, 仲地紀良, 宮古島に於ける腸内寄生虫及び糸状虫感染
状況, 長崎大学, 風土病紀要, 4(3); 166~175
16. 国吉真英, 南大東島の寄生虫調査成績について, 沖縄獣医畜産研究報告, 2; 21~26

昭和38年(1963)

17. 佐藤八郎, 尾辻養人, 仲地紀良, 国吉真英, 平識善保, 城間盛吉, 上原直三, 奥平広一, 沖縄に
於ける腸管寄生虫ならびにフィラリア調査成績, 熱帯医学会報, 4(1); 28~29
18. 国吉真英, 仲地紀良, 平識善保, 城間盛吉, 沖縄本島久志村の寄生虫調査成績について, 琉球衛
生研究所報3; 5~22
19. 仲地紀良, 国吉真英, 平識善保, 城間盛吉, 琉球宮古島における腸内寄生虫調査成績について,

熱帯医学会報, 4 (1); 23~24

昭和39年(1964)

20. 山本達人, 国吉真英, 城間盛吉, 平識善保, 沖縄本島小中高生における鉤虫感染状況調査, 熱帯医学会報, 5 (1); 92~93
21. 佐藤八郎, 尾辻義人, 与那嶺和男, 浜田巳則, 国東孝, 安東大石, 貞方洋子, 前田忠, 仲地紀良, 新城八郎, 国吉真英, 上原直三, 城間盛吉, 平識善保, 沖縄に於ける成人病集団検診, 鹿児島大学医学雑誌, 16 (3); 84~88

昭和40年(1965)

22. 国吉真英, 仲地紀良, 城間盛吉, 平識善保, 上原直三, 沖縄本島久志村の寄生虫調査成績について(上), 獣医畜産新報, 392; 12~15
23. 国吉真英, 仲地紀良, 平識善保, 上原直三, 沖縄本島久志村の寄生虫調査成績について(下), 獣医畜産新報, 400; 8~12
24. 平田久夫, 城間盛吉, 平識善保, 片峰大助, 吉村税, 沖縄宮古島に於けるフィラリア集団治療の経過, 寄生虫学雑誌, 第34回日本寄生虫学会記事特集, 14 (4); 337~338
25. 照屋寛善, 仲地紀良, 国吉真英, 平識善保, 城間盛吉, 上原直三, 池宮喜春, 金城進, 上田朝高, 上里幸正, 沖縄に於ける肺ジストマ症の疫学的研究, 沖縄医学会誌, 第27回沖縄医学会記事特集, V (1); 45~50
26. 国吉真英, 西村謙一, 沖縄本島から得た広東住血線虫, *Angiostrongylus cantonensis* について寄生虫学雑誌, 第18回日本寄生虫学会南日本支部大会記事
27. 西村謙一, 国吉真英, 吉田朝啓, 琉球列島における広東住血線虫, *Angiostrongylus* の中間宿主について, 寄生虫学雑誌, 第18回日本寄生虫学会南日本支部大会記事特集
28. 仲地紀良, 国吉真英, 平識善保, 城間盛吉, 上原直三, 沖縄医学会雑誌, 第27回沖縄医学会記事特集, 5 (1); 66~72

昭和41年(1966)

29. 国吉真英, 仲地紀良, 屋嘉勇, 具志頭村の糸状虫症について, 第4回無医地区巡回診療報告, 47~54

30. 平田久夫, 国吉真英, 城間盛吉, 平識善保, 片峰大助, 吉村税, 宮古島におけるフィラリア集団治療の経過, 沖縄医学会雑誌, 第28回沖縄医学会記事特集, V1(1), 22

31. 国吉真英, 沖縄の肺吸虫症, 熱帯医学会報, 7(1), 107

昭和42年(1967)

32. 佐藤八郎, 柚木一雄, 尾辻義人, 高木茂男, 大山治史, 与儀昌夫, 宮城普吉, 国吉真英, 平識善保, 沖縄に於ける無医地区の診療経験, 熱帯医学会報, 8(1); 48~46

昭和43年(1968)

33. 尾辻義人, 前田忠, 原田隆二, 国吉真英, 城間盛吉, 沖縄島東村に於けるフィラリアについて, 寄生虫学雑誌, 第21回日本寄生虫学会南日本支部大会記事, 17(6); 65~66

昭和44年(1969)

34. 柳沢十四郎, 伊東洋一, 国吉真英, 那覇市産数種陸棲具の *Angiostrongylus cantonensis* の感染状況, 寄生虫学雑誌, 第38回日本寄生虫学会大会記事特集, 18(4)

35. 国吉真英, 平識善保, 城間盛吉, 沖縄に於ける広東住血線虫, *Angiostrongylus cantonensis* の研究(中間報告), 第2回沖縄公衆衛生学会記録集, 185~191

36. 坂口祐二, 国吉真英, 鈎虫の抵抗性に関する2, 3の観察, 寄生虫学雑誌, 第22回日本寄生虫学会南日本支部大会記事, 18(6補); 69

37. 国吉真英, 坂口祐二, 城間盛吉, 沖縄本島南部地区の農村に於ける鈎虫の感染動態, 熱帯, 13; 65~66

昭和45年(1970)

38. 国吉真英, 仲地紀良, 城間盛吉, 平識善保, 沖縄本島4カモデル部落における糸状虫症の疫学調査成績, 第1回沖縄公衆衛生大会記録集, 224~230

39. 国吉真英, 仲地紀良, 城間盛吉, 平識善保, 沖縄本島4カモデル部落における糸状虫症の疫学的調査と集団駆虫成績について, 第2報, モデル部落に於ける糸状虫症の集団駆虫成績, 第1回沖縄公衆衛生大会記録集,

40. 国吉真英, 城間盛吉, 沖縄宮古島マラリア原虫検査成績について, 第1回沖縄公衆衛生大会記録集, 91~95

41. 沖縄本島久志初等学校学童マラリア原虫検査成績について，第1回沖縄公衆衛生大会記録集，
252～257

42. 国吉真英，沖縄における糸状虫症に関する文献目録（1911年～1960年），財団法人沖縄寄
生虫予防協会発行

43. 国吉真英，沖縄に於ける糸状虫症の調査成績，財団法人沖縄寄生虫予防協会発行

昭和46年（1971）

44. 国吉真英，沖縄県下における人のフィラリア防圧の歴史的概説，獣医畜産新報，554；14～16

45. 国吉真英，仲地紀良，比嘉盛幸，沖縄本島にて検出せる広節裂頭条虫，*Diphyllobothrium latum*
について，第2回沖縄公衆衛生学会記録集，269～271

昭和47年（1972）

46. 片峰大助，平田久夫，国吉真英，皮内反能からみたフィラリア集団治療の効果，熱帯，7（1）
；42

47. 国吉真英，吉田朝啓，岸本高男，安里龍二，比嘉ヨシ子，長嶺由紀，下謝名和子，沖縄本島にお
ける広東住血線虫，*A. cantonensis*の浸淫状況について，熱帯7（1）；26～27

48. 吉田朝啓，国吉真英，沖縄におけるマラリア流行の終焉と防圧の問題点，熱帯，7（1）；35
～36

49. 未永敏，国吉真英，照屋尚夫，岸本高夫，安里龍二，比嘉ヨシ子，下謝名和子，沖縄における
犬フィラリアの浸淫状況について，寄生虫学雑誌，第42回日本寄生虫学会大会特集号，22；52

昭和48年（1973）

50. 国吉真英，沖縄県公害衛生研究所寄生虫関係業績目録（1952～1972），第4回沖縄公衆衛
生学会記録集

51. 国吉真英，寄生虫調査研究の歩み，第4回沖縄公衆衛生学会記録集